

学校運営協議会 議事録

校名	府立 港 高等学校
校長名	氣賀 聡

開催日時	令和 元 年 5 月 24 日 (金) 16:00 ~ 17:30
開催場所	大阪府立港高等学校 1階会議室
委員	千葉 真也 委員 加藤 昭弘 委員 浅海 奈津美 委員 村田 哲志 委員
学 校	校長 氣賀 聡 教頭 井本 武彦 首席 小畑 龍業 首席 梅津 寛明 指導教諭 倉内 喜則 教諭 芦田 健 教諭 吉田 正勝 教諭 片岡 知子 教諭 毛藤 佳宏 教諭 湯本 真規 教諭 吉川 夏子 教諭 宮地 耕介 教諭 藤浦 好晃 教諭 山本 汐莉 教諭 村上 実奈
傍聴者	な し
協議資料	「平成 30 年度 学校評価」「平成 31 年度 学校経営計画」「学校改革」
備 考	

議題等 (次第順)	
大阪府立港高等学校 令和元年度 第 1 回学校運営協議会	
次 第	
1 開 会	(司会 教頭 井本 武彦)
2 校長挨拶	(校長 氣賀 聡)
3 学校運営協議会	
	学校運営協議会委員紹介
	学校運営協議会「会長」選出
4 報告	
	(1) 平成 30 年度末及び令和元年度当初の生徒状況等 (学年・分掌マネジメントから)
	① 教務主任
	② 進路指導主事
	③ 生徒指導主事
	④ 生徒自治会顧問
	⑤ 保健主事
	⑥ 総務部長

- ⑦ 3学年主任
- ⑧ 2学年主任
- ⑨ 1学年主任
- ⑩ 人権教育推進委員長

(2) 平成 30 年度学校評価について

5 協議

協議内容 平成 31 (令和元) 年度学校経営計画 について

6 諸連絡

次 回 第 1 回学校運営協議会

令和元年 10 月 25 日 (金) 16:00 から 予定

7 校長「閉会」の挨拶

(校長 氣 賀 聡)

協議内容・承認事項等 (意見の概要)

1 開 会

2 校長挨拶

- ・傍聴席設置のため、学校運営協議会の開催場所を会議室に変更した。
- ・入試の倍率の低下 (平成 29 年度 1.28 倍、平成 30 年度 1.36 倍、平成 31 年度 1.1 倍)
→公立高校の二極化
- ・大阪北部地震のため、ブロック塀を撤去する (夏以降)
- ・国際交流の実施 (台湾桃園市立龍潭高級中学校)
- ・文部科学省実施のプロジェクト (「トビタテ! JAPAN」)、大阪府庁実施のプロジェクトに本校生徒が採用。
- ・野球部、吹奏楽部の活躍
- ・「みなとタオル」作成
- ・登校時間を早めたことによる登校風景の変化 (地域の方々から好評)

3 学校運営協議会

学校運営協議会委員紹介

学校運営協議会「会長」選出 → 楠野 宣孝 委員を「会長」として選出

4 報告

(1) 平成30年度末及び令和元年度当初の生徒状況等（学年・分掌マネジメントから）

① 教務部

- ・遅刻者の減少、生徒の意識変化のサポートを積極的に行う。
- ・新学習指導要領の検討→英数国中心に学力の育成を図る。

② 進路指導部

- ・第71期の進学状況（定員の厳格化により4年制大学の合格率が低下）
→生徒に対しては、指定校推薦の活用を提示しつつも、安易な進路決定を行わないよう指導するとともに、全員の進路が決定した状態で送り出せるよう指導する。
生徒が保護者と進路について話ができるよう、保護者に働きかける。
- ・今年度改定予定の予約奨学金の情報提供及び手続きの円滑な実施
- ・チャレンジ講習やW-UPの時間を有効活用し、生徒の進路実現に取り組む。

③ 生徒指導部（河合 孝 教諭の代理：吉田 正勝 教諭）

- ・ルールを守るとともにマナーやモラルが身につくよう指導する。
 - ・8:15より挨拶指導の実施
- 地域の方々にも積極的に挨拶ができることを目指す。
- ・遅刻者数を4,500件以下に減少させる。
 - ・問題行動に対しては、学校全体として動く。

④ 自治会

- ・部活動の加入率の上昇を目指す。
- 現状ではアルバイトなどのため、部活動に加入しない生徒がおり、部活動に専念できる環境作りが必要。
- ・体育祭や文化祭などの行事を通して、主体的な集団の形成を目指す。

⑤ 保健部（立木 里美 教諭の代理：湯本 正規 教諭）

- ・防災（備蓄の確認及び補充）
- ・安全点検（不備のあった箇所は対処する）
- ・清掃用具の補充及び整備
- ・美化委員会を中心とした校内美化の取り組みを行う。

⑥ 総務部

- ・首席2名体制への変更
- ・PTA活動として総会を5月11日（土）に実施し、新年度の役員を決定した。
- ・学年あたり7学級規模になりつつあり、PTA会計減収に対応した事業内容を検討し、実行する。
- ・110周年記念事業への取り組み
- ・始業式及び終業式における本校制服の着用（ネクタイとリボンを含む）及び校歌斉唱

- ・給付型奨学金について、学年と連携して取り組む。
- ・年3回の学校見学会及び説明会を実施する。
- ・図書委員活性化の試みとして、2階エレベーターホールに小黒板を設置し、PRを行う。

⑦ 3学年主任

- ・遅刻指導（規律ある生活習慣を身につける）
- 前年度は遅刻が複数回重なった後に指導を行ったため、遅刻が常習化してしまった。本年度は遅刻1回ごとに指導している。
- ・身だしなみ指導
 - ・進路指導
- 4年制大学への合格が厳しいため、早めに声かけを行い、志望校の早期決定を促す。進路が決まっている者に対しては、説明会の案内や面接練習などを実施している。

⑧ 2学年主任

- ・「第73期から学校を変える」というスローガンのもと、一歩踏み込んだ指導を行う。
- 遅刻は700件未満を目指し、挨拶を徹底する。
- ・進路については、6月に実施される看護系の模試や専門学校の説明会の案内をし、大学の見学会なども行う。
- 進路に対する不安が30%を超え（前年度の調査では20%）、進路に対して真剣に考えているこの時期に、上記のような試みを行うことは有効ではないか。

⑨ 1学年主任

- ・第73期同様、規律ある行動ができるよう指導する。
- ・台湾桃園市立龍潭高級中学校との国際交流の実施
- ・オリエンテーションキャンプによって、本校生徒である自覚を持つよう指導
- ・W-UP（英数国）を実施し、進路実現につなげる。
- ・著名な講師を招いての進路講演の実施

⑩ 人権教育推進委員長

- ・年間目標を「互いを認め合い他者を理解できる豊かな心を育む」とし、小中学校で実施されている道徳科での取り組みを高校でも活かせるよう、各教科と連携を図る。（W-UPの時間なども活用）
- ・トラブルを未然に防げるよう、教員間で連携する。

(2) 平成30年度学校評価について

- ・「アンケートからみる来年度に向けての課題」について
- ①保護者・教職員からのアンケート回収率の上昇（回収率UPへの努力）、③生徒・教職員の学校の生徒指導方針についての肯定感UPへ、⑤清掃活動実施の肯定感をUPへ、の3点に特に重点を置きたい。

• 学校改革について

→進学実績が20ポイント低下し、生徒の進路が保障できなくなりつつある現状において、生徒が進路を「自分で切り拓いていく力」を育むことを目指し、個に応じたキャリア教育及び進路開発支援を行う。

ガイダンス機能の充実を目指し、ガイダンスルーム及び challenge ルームの設置を検討し、組織編制を行った。

5 協議

• 「平成31（令和元）年度 学校経営計画」では以下の点に特に重点を置く。

1-（2）ア → 成績不振で落ちる生徒をなくす。（成績不振者への講習、マスト提出指導など）

1-（3） → 英語検定・GTEC、漢字検定の全員受検

2-（3）（4） → 現状アルバイトをしている生徒の割合は50%であり、そのうち25%は1年生の1学期中間までに、残りの25%も1年生の1学期期末までにアルバイトを決めている。→「仕方ない」では済ませない。

2-（5） → スクールソーシャルワーカー（以下SSW）、スクールカウンセラー（以下SC）の導入

3-（4） → 時間外労働の改善

【意見交換】

• 「時間外労働の改善」について→何を「スクラップ」するのか。

→加藤 昭弘 委員による大阪市立波除小学校での試みの紹介

①家庭訪問の実施をやめ、希望制の懇談に切り替えた。

②通知簿に1・2学期は所見を書かない。

③夏休み中のプール開放をやめる予定

• SSW、SCの導入について

→保護者の不仲や虐待などにより、幼いうちから心のケアが必要な子どもが多い。（SWに報告）

昨年度のSSWは2学期のみの導入となったが、今年度は各学期1回ずつ合計3回の導入とする。

6 諸連絡

次 回 第2回学校運営協議会

令和元年10月18日（金） 16:00から 予定

7 校長「閉会」の挨拶

（校長 氣賀 聡）

次回の会議日程

日 時	令和元年10月18日（金）16:00から 予定
会 場	大阪府立港高等学校 校長室

